Architectural
Workshop
TODAIJI
2020

2020年5月4日

建築学生ワークショップ東大寺２０２０

新型コロナウイルス影響による対策の為
延期（当初の予定より3週間）

全国の大学生たちが小さな建築を、東大寺周辺区域に８体実現。

２０１９年度参加学生

東大寺は、奈良時代には「六宗兼学」、平安時代を経て「八宗兼学」といわれた学問寺。わが国で伝えられてきた「学問の原初の聖地」です。さらには奈良時代以来の建築物を数多く伝えるとともに、平成元年には国内初の「プリツカー賞授賞式」が行われた建築の聖地でもあります。開催から約 30 年を経て、東大寺大仏殿にて開催いたします。

参加者　建築および環境デザイン等の分野を学ぶ学生および院生 ４７人

参加校（2019 年度）

慶応義塾大学　京都大学　長崎大学　大阪工業大学　三重大学　大阪大学　芝浦工業大学　米子工業高等専門学校
筑波大学　京都府立大学　京都工芸繊維大学　豊橋技術科学大学　近畿大学　関西学院大学　東京理科大学
大阪市立大学　日本工業大学　武蔵野美術大学　東京工業大学　多摩美術大学　名古屋大学　九州大学　大同大学
山口大学　広島工業大学　工学院大学　京都橘大学　和歌山大学　お茶の水女子大学　東京工芸大学

※順不同

２０２０年度参加予定講師

太田伸之（前クールジャパン機構 CEO）　小松浩（毎日新聞社 主筆）　建畠哲（多摩美術大学 学長）　南條史生（森美術館 館長）　蓑豊（兵庫県立美術館 館長）　五十嵐太郎（東北大学 教授）　倉方俊輔（大阪市立大学 准教授）　柴田昌三（京都大学 教授）

腰原幹雄（東京大学 教授）　櫻井正幸（旭ビルウォール 代表取締役社長）　佐藤淳（東京大学 准教授）　陶器浩一（滋賀県立大学 教授）　芦澤竜一（滋賀県立大学教授）　遠藤秀平（神戸大学工学部教授）　竹原義二（摂南大学 教授）　長田直之（奈良女子大学 准教授）

平田晃久（京都大学 准教授）　平沼孝啓（平沼孝啓建築研究所 主宰）　藤本壮介（藤本壮介建築設計事務所 主宰）　安井昇（桜設計集団 代表）　安原幹（東京大学大学院 准教授）　山崎亮（東北芸術工科大学 教授）　横山俊祐（大阪市立大学 教授）　吉村靖孝（早稲田大学 教授）

©AAF Art & Architect Festa
広報に関するお問い合わせ I 特定非営利活動法人アートアンドアーキテクトフェスタ
E-mail. info@aaf.ac　URL. www.aaf.ac　〒550-0015 大阪市西区南堀江2丁目9-14

Architectural
Workshop
TODAIJI
2020

新型コロナウイルス影響による対策の為
延期（当初の予定より3週間）

公開プレゼンテーション

東大寺（空撮）

今春に全国から公募にて募りました、建築や芸術、環境デザインを学ぶ国内外の参加学生ら約６０名が、合宿（期間：９月 15日から ９月 21日）にて東大寺周辺に滞在し、古代からの歴史文脈に基づいた小さな建築を８体、９月 20日（日）東大寺周辺区域に実現します。また１１時より、東大寺大仏殿にて開催される公開プレゼンテーションでは、参加学生たちの提案意図や制作の創意工夫を発表し、国内外で活躍する建築家をはじめとした全国の大学で教鞭を執られる先生らと技術者による講評会を開催します。

大学や専攻、年齢も異なり次世代を担う参加学生たちが、歴史的に貴重な日本の聖地の環境に触発され、６月より現地のリサーチを重ねた経験に基づき、合宿による地域滞在型での制作ワークショップにより、柔軟な発想により制作した作品と発表、そして厳しくも温かい講評者の貴重なコメントを合わせてお聴きください。古の教えに学びながら提案し、豊かな発想力のもと実現した小さな建築空間に存在する、新たな価値の発見に迫ります。

2010 奈良・平城宮跡

2011 滋賀・竹生島

2015 和歌山・高野山

2016 奈良・明日香村

2017 滋賀・比叡山

2018 三重・伊勢

2019 島根・出雲

©AAF Art & Architect Festa
広報に関するお問い合わせ I 特定非営利活動法人アートアンドアーキテクトフェスタ
E-mail. info@aaf.ac　URL. www.aaf.ac　〒550-0015 大阪市西区南堀江2丁目9-14

Architectural Workshop TODAIJI 2020

新型コロナウイルス影響による対策の為
延期（当初の予定より3週間）

テーマ

“今、学問の、原初の、聖地から”

南大門（鎌倉時代）

鐘楼（鎌倉時代）

転害門（奈良時代）

校倉（奈良時代）

二月堂

東大寺金堂大仏殿（本殿）

日本学問の原点 ー 東大寺

「国内初のプリツカー賞授賞式の聖地に於いて」

2020 年夏、古代より現代に受け継がれてきた、わが国を代表する神聖な場所、東大寺周辺区域にて、小さな建築空間を実現する建築学生ワークショップを開催します。東大寺は、総国分寺的な役割も果たしたことから「華厳」をはじめ奈良時代には仏教六宗の宗所（研究所）が設けられていました。そして平安時代には、「天台」と「真言」の教学も盛んに研究され、「八宗兼学」の学問寺と呼ばれるようになりました。つまり現代の総合大学の役目となり、わが国で伝えられてきた「学問の原初の聖地」ともいわれています。

「神聖な場所を受け継ぐワークショップ」として開催するこの取り組みは 2001 年から始まり、過去に山添村（奈良県）・天川村（奈良県）・丹後半島（京都府）・沖島（滋賀県）などの関西近郊の各地で行われ、それぞれの過疎化した地域を対象に関西の学生らが提案し、開催地の支援を得ながら、有意義な成果を残してきました。2010 年からは、今までの取り組みの志向を変え、開催地の方たちと広く、一般社会にも投げかけてゆけるように、共同での開催となることを目指し、平城宮跡や竹生島、高野山金剛峰寺や明日香村キトラ古墳、比叡山延暦寺、伊勢神宮、そして昨年の出雲大社での開催など、日本の “聖地” とよばれる場所を開催地としています。公募により全国から集まった参加学生たちが、これらの特有な場所がもつ神秘的な力に対してどのようにリサーチし、真剣に考え向き合うのかを検討し、空間体験のできる規模（原寸大の建築）を制作し、建築のプロセス全体を体験する機会として開催していきます。

本開催は、公募により参加学生を 6 月 12 日に決定したのち、8 つの班に分かれ、7 月 4 日（土）に全国から奈良に集まり、現地調査を開始します。東大寺では、開催テーマとしての位置づけにもあるこの場所が持つ特有の力や意味を身体で感じ、その中から各々の班で発想の原点を見出していきます。さらに周辺地域の街歩きを繰り返し、いま現代に生き、奈良で学んでいることへの意味をみずから問うていきます。

8 月 22 日（土）の提案作品講評会では、国内外にて活躍をされる建築家の先生方を中心とした講評者の指導のもと、日本における貴重で特殊な環境における場所性に根づいた実作品をつくりあげる意味を問い正され、8 月 23 日（日）の実施制作打合せでは、地元の建築士や施工者、大工や技師、職人の方々に伝統的な工法を伝えていただく機会を得ながら、日本を代表する組織設計事務所の方々や多くのゼネコンに所属される技術者の皆様による実技指導をいただくことで、建築の考え方の基礎となる「思考の構造」となり得る経験になります。さらに、そのような貴重な経験を通して得た同世代の仲間たちは、今後、建築の活動を続けていく上で、お互いに刺激し合い、高め合っていける「生涯続く仲間」になっていくのでしょう。

9 月 20 日（日）、この参加学生たちが制作した小さな建築が 8 体、東大寺周辺区域に実現します。当日は、これらのプロセスを経て創出した建築空間を 1 日だけ、どなたでも体験していただけます。そして、建築・美術両分野を代表する評論家をはじめ、第一線で活躍をされている建築家や美術家の方々、世界の建築構造研究を担い教鞭を執られているストラクチャー・エンジニアによる講評者にお集まりいただき、公開プレゼンテーションを開催いたします。会場では、東大寺をはじめとした奈良県周辺の方々や、これまでの開催地の関係者の皆さま、そして全国から集まる建築関係者や一般参加者に向けた発表を行います。

建築のプロセスに胸を躍らせる 3 ヶ月。参加学生たちが気の遠くなるような歴史をもつ東大寺の伝統を学び、この文化に位置づけた解釈を生みだすのか。訪れた人たちの心を落ち着かせ、祈りを捧げるような空間体験と提案の発表に、どうぞご期待ください。

©AAF Art & Architect Festa
広報に関するお問い合わせ I 特定非営利活動法人アートアンドアーキテクトフェスタ
E-mail. info@aaf.ac URL. www.aaf.ac 〒550-0015 大阪市西区南堀江2丁目9-14

Architectural
Workshop
TODAIJI
2020

建築学生ワークショップとは？

平城宮跡

建築ワークショップとは、建築や環境デザイン等の分野を専攻する学生がキャンパスを離れ、国内外にて活躍中の建築家を中心とした講師陣の指導のもと、その場所における場所性に根づいた実作品をつくりあげることを目的としてきました。2001 年度から始まったこのワークショップは過去に山添村（奈良県）・天川村（奈良県）・丹後半島（京都府）・沖島（滋賀県）などの関西近郊の各地で行われ、それぞれの過疎化した地域を対象に提案し、市や街、村の支援を得ながら、有意義な成果を残してきました。

竹生島

第 10 回目の開催となった 2010 年度より、新たに今までの取り組み方の志向を変え、一般社会にも投げかけてゆけるような地元の方たちと共同開催での参加型の取り組みとなっていくことを目指し、「平城遷都 1300 年祭」の事業として、世界文化遺産（考古遺跡としては日本初）にも指定されている奈良・平城宮跡で開催しました。続く 2011 年度は滋賀・琵琶湖に浮かぶ「神の棲む島」竹生島（名勝史跡）にて、宝厳寺と都久夫須麻神社と共に開催。無人島とされている聖地に、地元周辺の方たちと汽船で通う取り組みを行いました。

高野山

2015 年は、開創法会 1200 年となる 100 年に 1 度の年に、高野山・金剛峯寺（世界文化遺産）との取り組みから、境内をはじめ周辺地区での開催をし、2016 年には、昭和 58 年 11 月 7 日に聖地・キトラ古墳で、ファイバースコープによって北壁の玄武図が発見されてから 30 年を経て、公開される直前のキトラ古墳と国営飛鳥歴史公園の開演プレイベントとして、キトラ古墳の麓に小さな建築を 8 体実現。2017 年には、国宝根本中堂「平成の大改修」始まりの年に、「古都京都の文化財」の一環としてユネスコの世界遺産に登録された、京都市と大津市にまたがる天台宗総本山・比叡山延暦寺にて開催。2018 年は、天皇陛下生前退位をされる前年、満了する平成最後の夏に、伊勢にて開催。2019 年は、「平成の大遷宮」完遂の年に、出雲大社にて開催いたしました。

明日香村

比叡山

このような日本における貴重でかけがえのない聖地における環境において、地元の建築士や施工者、大工や技師、職人の方々に古典的な工法を伝えていただきながら、日本を代表する建築エンジニアリング企業・日本を代表する組織設計事務所の方々や多くの施工会社の皆様、そして建築エンジニアリング企業の方たちによる技術者合宿指導により実制作を行い、地元・地域の多くの方たちによる協力のもと、原寸の空間体験ができる小さな建築物の実現と、一般者を招いた公開プレゼンテーションを行う等、これまでにない新たな試みを実施する『全国の大学生を中心とした合宿による地域滞在型の建築ワークショップ』です。

伊勢神宮

出雲大社

©AAF
Art & Architect Festa
広報に関するお問い合わせ I 特定非営利活動法人アートアンドアーキテクトフェスタ
E-mail. info@aaf.ac URL. www.aaf.ac 〒550-0015 大阪市西区南堀江2丁目9-14

Architectural
Workshop
TODAIJI
2020

開催目的

公開プレゼンテーションの様子

1. 学生のための発表の場をつくる

学内での研究活動が主体となっている学生にとって、一般市民に開かれた公開プレゼンテーションを行うこと自体が非常に貴重な体験となります。また、現在建築界で活躍する建築家を多数ゲスト講師に迎えることで、質の高い講評を参加者は受けることができます。また、ワークショップ終了後の会場での展示や、会期報告としてホームページや冊子の作成を行い、ワークショップの効果がさらに継続されるような仕組みをつくります。

作業の様子

2. 教育・研究活動の新たなモデルケースをつくる

海外での教育経験のある講師を招聘する等、国際的な観点から建築や環境に対する教育活動を行うワークショップとして、国内では他に類を見ない貴重な教育の場を設けます。また、行政や教育機関の連携事業として開催することで、国内外から注目される教育・研究活動として、質の高いワークショップをつくることを目指します。

提案作品講評会の様子

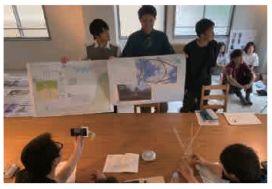
3. 地球環境に対する若い世代の意識を育む

現在、近畿の各地方には、世界に誇る貴重な文化遺産を有する京都や奈良、琵琶湖や紀伊半島の雄大な自然など、豊かな環境が数多く残っています。しかしながら、近年の社会経済活動は環境への負荷を増大させ、歴史的に価値の高い環境をも脅かすまでに至っています。このワークショップでは一人一人がこうした地域環境の特殊性、有限性を深く認識し、今後の建築活動において環境への配慮を高めていくと同時に、地球環境の保全に貢献する人材を育てていくことをねらいとしています。次世代を担う学生たちが、具体的な経験を通して環境に対する意識を育むことは、環境と建築が共存できる未来へと、着実につながるものと考えます。

実施制作打合せの様子

4. 地域との継続的な交流をはかる

歴史、文化、自然が一体となって残る地域の特色を生かしたプログラムを主軸に、特殊な地域環境や、住民との交流によって生み出される制作体験を目的としています。各地域にはそれぞれの土地で積み重ねてきた独自の歴史や文化、風土があり、自然素材を上手く活用してきた歴史があります。短期間のイベントであればそれらを深く知ることはできませんが、数ヶ月にわたる継続的な活動を前提として取り組むことで、より具体的な提案や制作によって、地域に還元していくことができると考えています。


各班エスキースの様子

現地説明会・調査の様子

集合写真

©AAF Art & Architect Festa
広報に関するお問い合わせ I 特定非営利活動法人アートアンドアーキテクトフェスタ
E-mail. info@aaf.ac URL. www.aaf.ac 〒550-0015 大阪市西区南堀江2丁目9-14

Architectural
Workshop
TODAIJI
2020

新型コロナウイルス影響による対策の為
延期（当初の予定より3週間）

開催概要

開催テーマ　“今、学問の、原初の、聖地から”
開催希望場所　東大寺周辺区域（奈良県）

変更（5/4）後予定スケジュール 2020 年度（令和 2 年）

2019 年 04 月 24 日（水）事業計画（草案）決定と座談会の開催
10 月 01 日（土）参加者募集開始（web 公開）
12 月 07 日（土）募集パンフレット全国配布
2020 年 01 月 03 日（金）プレスリリース配信（雑誌各社への広報）
05 月 07 日（木）参加説明会開催（東京大学）五十嵐太郎　中止
05 月 14 日（木）参加説明会開催（京都大学）倉方俊輔　中止
06 月 12 日（金）23:59 必着　参加者募集締切（参加者決定）
07 月 04 日（土）現地説明会・調査
07 月 18 日（土）午後予定　各班エスキース（東京会場）（大阪会場）於
08 月 22 日（土）～23 日（日）提案作品講評会と実施制作打合せ（1 泊 2 日）
08 月 22 日（土）提案作品講評会
08 月 23 日（日）実施制作打合せ
08 月 24 日（月）～09 月 14 日（月）各グループ課題の制作
09 月 15 日（火）～ 09 月 21 日（月）合宿にて原寸制作ファイナル（6 泊 7 日）
09 月 15 日（火）現地集合・資材搬入・制作段取り（1 日間）
09 月 16 日（水）～09 月 19 日（土）原寸模型制作（4 日間）
09 月 20 日（日）公開プレゼンテーション（1 日間）
09 月 21 日（月）清掃・解散（1 日間）

制作内容　“唯一無二の環境を守るために、あなたの提案を実現化してください”
フォリーの原寸模型を地域産材（自然素材 / 木材、和紙、土、石など）の材料で制作

©AAF Art & Architect Festa
広報に関するお問い合わせ I 特定非営利活動法人アートアンドアーキテクトフェスタ
E-mail. info@aaf.ac　URL. www.aaf.ac　〒550-0015 大阪市西区南堀江2丁目9-14

Architectural Workshop TODAIJI 2020

新型コロナウイルス影響による対策の為
延期（当初の予定より3週間）

予定表

写真は 2019 年度開催の様子

２０１９年　４月２４日（水）
東大寺開催決定

座談会

２０２０年　５月７日（木）　中止
参加説明会開催（東京大学）

５月１４日（木）　中止
参加説明会開催（京都大学）

７月４日（土）
現地説明会・調査

７月１８日（土）午後
各班エスキース（東京会場・大阪会場）

８月２２日（土）
提案作品講評会

８月２３日（日）
実施制作打合せ

９月１５日（火）～９月２１日（日）
現地集合・資材搬入・制作段取り
合宿にて原寸制作（6 泊 7 日）

９月２０日（日）
公開プレゼンテーション

９月２１日（月）
撤去・清掃・解散

©AAF Art & Architect Festa
広報に関するお問い合わせ I 特定非営利活動法人アートアンドアーキテクトフェスタ
E-mail. info@aaf.ac　URL. www.aaf.ac　〒550-0015 大阪市西区南堀江2丁目9-14

Architectural Workshop TODAIJI 2020

参加対象者　建築および環境デザイン等の分野を学ぶ学生および院生
参加人数　60 人 (大学院生 1 人＋参加学生 4 ～ 6 人)×8 班 計 50 名（上限）+ 運営サポーター 10 名（上限）
学生参加費用　実費（宿泊費、保険代、図録・資料代、一部食費等 約￥35,000 予定 / 事前徴収制）

※ 現地までの交通費は各自別途負担となります。
※ このワークショップは、ご賛同をいただいている企業・財団、ならびに開催地の有志の方々のご協力と、学生の参加費により運営をしています。被災地域からの参加学生がある場合は、減免・優遇します。

参加講師（予定） ※日本を代表する講評者・総勢２４名による講評

日本の文化を世界へ率いる方々や、建築・美術 両分野を代表する評論家をはじめ、第一線で活躍をされている建築家や都市計画家、アートディレクターや、構造研究を担い教鞭を執られているストラクチャー・エンジニアによる講評。また近畿二府四県の大学で教鞭を執られ、日本を代表されるプロフェッサー・アーキテクト、コミュニティデザイナー等にご講評いただきます。

太田　伸之　（前クールジャパン機構 CEO）
小松　浩　（毎日新聞社 主筆）
建畠　晢　（美術評論家 | 多摩美術大学 学長）
南條　史生　（美術評論家 | 森美術館 館長）
蓑　豊　（美術評論家 | 兵庫県立美術館 館長）
五十嵐太郎　（建築史家・建築評論家 | 東北大学 教授）
倉方　俊輔　（建築史家 | 大阪市立大学准教授）
柴田　昌三　（造園家 | 京都大学 教授）
腰原　幹雄　（構造家 | 東京大学 教授）
櫻井　正幸　（旭ビルウォール 代表取締役社長）
佐藤　淳　（構造家 | 東京大学 准教授）
陶器　浩一　（構造家 | 滋賀県立大学 教授）
芦澤　竜一　（建築家 | 滋賀県立大学 教授）
遠藤　秀平　（建築家 | 神戸大学 教授）
竹原　義二　（建築家 | 摂南大学 教授）
長田　直之　（建築家 | 奈良女子大学 准教授）
平田　晃久　（建築家 | 京都大学 准教授）
平沼　孝啓　（建築家 | 平沼孝啓建築研究所 主宰）
藤本　壮介　（建築家 | 藤本壮介建築設計事務所 主宰）
安井　昇　（建築家 | 桜設計集団 代表）
安原　幹　（建築家 | 東京大学大学院 准教授）
山崎　亮　（コミュニティデザイナー | 東北芸術工科大学教授）
横山　俊祐　（建築家 | 大阪市立大学 教授）
吉村　靖孝　（建築家 | 早稲田大学 教授）

主　催　特定非営利活動法人アートアンドアーキテクトフェスタ
特　別　東大寺　共　催　奈良県　奈良市
特別協賛　旭ビルウォール
地域協賛　淺沼組　奥村組　鴻池組　村本建設　他
連携協賛　連携組織設計事務所　12 社　連携施工会社　10 社
連携協力　京都大学　東京大学
後　援　観光庁　毎日新聞社　奈良県教育委員会　奈良市教育委員会
日本建築学会　日本建築士会連合会　日本建築士事務所協会連合会
日本建築家協会　日本建築協会　日本建築材料協会
奈良商工会議所　奈良県建設業協会　近畿建築士協議会
日本建築士事務所協会連合会近畿ブロック協議会
奈良県建築士会　奈良県建築士事務所協会　日本建築家協会近畿支部
助　成　カメイ社会教育振興財団（申請中）
協　力　近畿日本鉄道　奈良交通

※全て（ご相談）予定

©AAF Art & Architect Festa
広報に関するお問い合わせ I 特定非営利活動法人アートアンドアーキテクトフェスタ
E-mail. info@aaf.ac　URL. www.aaf.ac　〒550-0015 大阪市西区南堀江2丁目9-14